

入札参加者各位

阿南市教育部教育総務課

工事名 大野小学校屋内運動場屋根改修工事

【質問番号:1から6】

1	足場の壁つなぎ部分の石綿除去について参考数量内訳書p7において26か所となっておりますが、この数量は足場の各規則及び基準に則って、設計し算出された数量ということでよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2	足場の壁つなぎ数量について他物件の質疑回答より、本物件においても2階部分の壁つなぎについては、ALCパネルではなく、建物躯体又は下地材への固定を想定していると思われませんが、具体的にどのような方法にて固定するよう想定されているのか簡易的な図面や説明図を添えてお示しいただけますでしょうか。また、上記による撤去跡の補修方法も併せてご教授ください。	壁つなぎについては、ALCパネルではなく、建物躯体または下地材への固定を想定しています。なお、具体的な固定方法及び壁つなぎ撤去後の補修方法については、使用する壁つなぎ材、固定金具等により異なることから、受注者が採用する施工方法に応じて施工計画書を作成の上、監督員と協議してください。
3	足場の施工について外部足場の施工において、桁行方向Y0、Y4通りのパラペットの開きを200mm程度(図面での寸法判読不可)とすると、サッシのある壁面から900mm程度の距離が開くことになるかと思われます。その状態で壁つなぎの高性能真空掃除機(HEPA付)作業を行うのは安全上、施工上無理があると考えます。全体を二重足場とするか、壁つなぎの施工部分のみ二重足場とするか、パラペット部分を持ち出し足場とする等が必要かと思いますが、どのように設計されているのでしょうか。	Y0、Y4通りの外部足場の施工については、図面番号5足場等及び図面番号6-8でお示ししている通り、D=60cm×2列で設計を行っており、壁つなぎの施工に支障はないと考えております。
4	足場つなぎの撤去あとの補修は、シール詰め後、外壁同色の塗装のみで設計されていると考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。

5	屋根下地について図番15.16 既存棟下地21×45、既存ケラバの木下地18×100、21×60撤去とありますが、内訳書にはp6に棟包み、ケラバ包み鋼板部分撤去・積込み・運搬・処分しか計上されていません。木下地材の撤去・積込み・運搬・処分は追加工事になると考えてよろしいでしょうか。	ケラバ包み撤去の単価において、木下地部分の撤去・集積は計上されています。積込・運搬・処分については追加工事とします。
6	現在、本工事と同様の案件が発注されております。念の為、各工事について同じ質疑も提出していますが、物件①に対して行った質疑及び質疑回答は、他の②③④の物件に対しても適用されるのでしょうか。	各案件の設計内容が同一である事項については、本質疑回答を他案件についても適用するものとします。ただし各案件において設計条件が異なる事項については、この限りではありません。
	以下余白	